



Since 1997

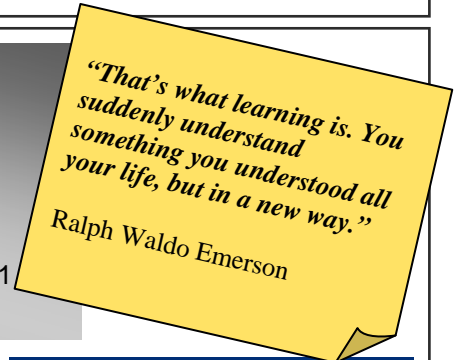
The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 14 | Issue 1 | September 2010

In this issue...

- ▶ Secondary Achievement Awards...p. 2
- ▶ IB Diploma Results...p. 2
- ▶ Student Enrolments...p. 3
- ▶ Dress Expectations for Students...p. 3
- ▶ Global Young Leaders...p. 4
- ▶ Car Parking Reminder...p. 5
- ▶ Moodle News...p. 7
- ▶ ISA Testing...p. 7
- ▶ Counselor's Corner...p. 9
- ▶ College Admissions Season...p. 10
- ▶ Sino-Japan Youth Conference...p. 11
- ▶ Welcome to New Staff...p. 13



From the Head of School

Greetings and welcome to the 2010-2011 school year!

在校生、ご家族のみなさん、また新入生諸君とご家族のみなさん、KISTコミュニティーによるこそ！先日のウエルカムナイトでたくさんの方の保護者のみなさんとお会いして、「Collaboration (協力)、コミュニケーション、コミュニティー」等、みなさんと共にKISTコミュニティーに貢献していることを楽しみにしています。今年もとてもエキサイティングな一年になること、間違いありません！

今日は、この場をお借りして自己紹介をさせていただきます。
私は、アメリカ、テキサス州ヒューストンの出身で、現在まで25年間あまり教育に携わってきました。アメリカを始め、日本、ドイツ、英国、最近では、カメルーンやアフリカ西部で教鞭を取ってきました。アドミニストレーターになる以前は、科学や特殊教育のクラスを教え、またスクールカウンセラーとしても生徒達と関わってきました。小学校教育学士、特殊教育学修士、教育機関経営学博士(学術)を取得しています。また、米国カリフォルニアに在住している2人の娘と新たに家族に加わった孫息子をとても愛おしく思っています。近い将来に、日本を訪問してくれるでしょう。

今週、KIST発展のためのいくつかのコミッティー(小委員会)が早くも活動を開始しました。その中の一つのコミッティーが「コミュニティーコネクション」です。これは、保護者の皆さんのグループや、コミュニティーがどのように、KISTに関わるかを検討する委員会です。ご参加ご希望の方、またご興味がおありの方は、ぜひメールでお問い合わせください。(n_shaw@kist.ed.jp) また、下記の「カジュアルコーヒーコーナー」にもぜひご参加ください。皆さんのご意見をうかがえるのを楽しみにしています。

本校のモットーは「人生のための学習」です。ご父兄として、お子さん達の教育に関わる重要性は、すでにご承知のことと思います。皆さんと一緒に実りある一年にしていく事を楽しみにしています。

Warm regards,
Nanci Shaw, Ph.D.
Head of School



CASUAL COFFEE CORNER

Friday, September 24, 9:00 a.m.
Multipurpose Room

たくさんの方々とコミュニティーについてのアイデアをシェアしましょう。当日日本語の通訳が入ります。

Please join us!

DATES TO REMEMBER



- September 20:**
School day
Board of Directors meeting
- September 21:**
(S) College Information Night
- September 23:**
School day
- September 28:**
(L/P/S) Free dress day
- September 28 - 30:**
(G3/G5/G7/G9) ISA testing
- September 29 - October 1:**
(G8) Camp
- October 1:**
PYP parent information session
- October 4 - 5:**
School photographs
- October 7 - 8:**
Staff development days (No school for students)
- October 9:**
School Explanation Day
- October 11:**
School day
2011 enrolment applications open
Board of Directors meeting

Secondary Achievement Awards 2009-2010

おめでとう！09-10年度それぞれの分野で活躍し、受賞した生徒を表彰します。各賞受賞者は以下のとおりです。（学年表示は昨年度の所属学年です）

クリエイティビティー、アクション、サービス
- Shreya (G11)

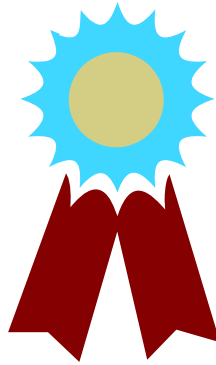
エクステンデット エッセイ
- Carmina (G12)

エクステンデット エッセイ特別賞
Extended Essay Honorable Mention
- Yuri (G12)
- Disha (G12)

KIST コミュニティー貢献賞
- Matthew (G11)
- Dingyun (G11)

文化活動に対して東京都から表彰
- Carmina (G12)

スポーツ活動に対して東京都から表彰
- Ryosuke (G10)
- Pyay Phyo (G11)



2010入学説明会

2011 - 2012年度向け

KISTでは2011 - 2012年度入学希望者を対象とした入学説明会を行います。

アドミニスタフおよび教師が直接皆さまからの様々な質問(入学手続き、カリキュラム、大学進学、その他学校生活全般について)に直接お答えいたします。

また、学校施設の見学もできます。

日時:

October 9, 2010 (Saturday)

セッションは2部制です:

- (1) English: 9:45 a.m. - 12:00 p.m.
- (2) Japanese: 1:15 p.m. - 3:30 p.m.

受付締切は:

October 8, 2010

要予約です!

www.kist.ed.jp

IB Diploma Results



夏休み期間中に、2010年度卒業生のIBディプロマの結果が報告されました。今年では過去最高の合格者数を出すことができました。

IBディプロマにチャレンジしたすべての生徒がそれぞれの成功を手に入れました。Aditya, Disha, Jamesが最高点をマークしました。Yuri, Joann, Shoの3人はバイリンガルIBディプロマを授与されました。この3人は当校のG11とG12のカリキュラムで二つの言語を第一言語として選択しました。

IBディプロマの結果に関して、保護者の皆さんでもっと詳しい情報をご希望の方は下記のリンクを参照ください。

<http://www.ibo.org/diploma/assessment/results/>.

IBディプロマは "Statistical Bulletin" という資料を発表します。2010年5月期の結果は11月ごろ発表される予定です。

生徒諸君！ IBディプロマの成功、おめでとう！！

DPIについてのもっとお知りになりたい方は、DPコーディネーターにお問い合わせください。

Mark Cowe
IB Diploma Coordinator
dp_co@kist.ed.jp

Student Enrolments

今年度本校は、生徒総数約600名で新学期をスタートさせました。昨年度末の6月、いくつかのご家族が本国あるいは、他の国へ移って行かれましたが、幸いなことにまた新たに90名の新生生を迎えることができました。そのため、生徒総数は過去数年と変わることなく推移しています。

今年度は、47の国や地域の出身生徒がKISTで学んでいます。47の国や地域は以下の通りです。

American, Australian, Bangladeshi, Bolivian, British, Canadian, Chinese, Danish, Dutch, Egyptian, French, German, Indian, Indonesian, Iranian, Israeli, Italian, Ivorian, Japanese, Korean, Malaysian, Mexican, Mongolian, Myanmar, Nepalese, New Zealander, Nicaraguan, Norwegian, Pakistani, Panamanian, Peruvian, Filipino, Polish, Romanian, Russian, Senegalese, Serbian, Singaporean, South African, Spanish, Sri Lankan, Swedish, Taiwanese, Thai, Turkish, Ugandan, Ukrainian

また、教職員も13カ国から来日してKISTで教えています。

Australian, American, British, Canadian, El Salvadorian, German, Greek, Japanese, Kyrgyzs, New Zealander, Malaysian, Filipino, Romanian

我々はさまざまな国際的環境及び文化に囲まれ、お互いの文化を学びあえる素晴らしい環境にいます。

Craig Larsen

Director of Admissions and Personnel



Dress Expectations for Students

何名かの生徒は、教職員からの再三の注意にもかかわらず、引き続き服装に関する校則を「拡大解釈」したり、「わすれた」りしているようです。

服装に関する校則はハンドブックにくわしくはっきりと以下の項目について書いてあります。

- 身だしなみはきちんと、きれいに、清潔に。
- 一体にあったサイズで規定に沿った制服。
- 黒の靴(絵柄や違う色の靴ひもは不可)
- 黒のソックス
- 襟より長い髪は後ろで束ねる。

来週、各校長が服装に関する校則の話を生徒全員にする予定です。ご父兄の皆さんにもぜひ、ご家庭で本校のハンドブックの服装の規定に関するセクションをお子さんと一っしょに見ながらお話になってください。そして毎朝学校に出かける際に、服装を確認なさってください。

以下は、当校のハンドブックの抜粋です：

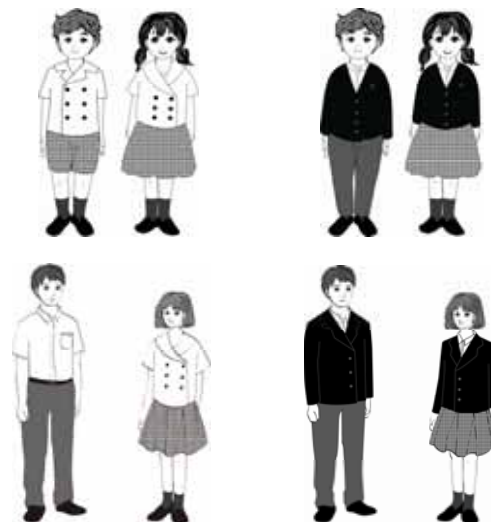
K インターナショナルスクール東京には全生徒が登下校時をふくみ常時従わなくてはならない厳格な服装規定があります。このドレスコードは、制服、衣類と一般的な外見を規定しており、生徒達の尊敬、責任、安全を促進するように制定されました。

一般的に日本社会では学校の質を生徒の外見から判断します。ホスト国日本のこの傾向を考慮し、KISTの全生徒は入学時から学校の制服を正しく着用し、控え目な外見を維持し、過激な服装をしないように要求されます。学校として、私たちは制服を正しく着用することは地域社会に学校のイメージを向上させるための重要な手段であ

ると考えています。それはまた、学校を誇りに思う気持ちを促進させるとともに、生徒に帰属意識と協調性を育むものとして機能します。さらに、制服を着用することで、ファッションに過剰な意識を集中させることなく、生徒が学業に専念することができます。

ご父兄の皆さんには、ぜひ以上のことをご理解いただき、全生徒が尊敬と責任を理解する市民になれるよう指導にご協力ください。

KIST Administration Team



Global Young Leaders Conference

当校の11年生KeiとRyosukeがこの夏にアメリカで開催されたグローバルヤングリーダー会議(GYLC)に参加しました。この会議は世界中の学校から約300名を選び、全世界的な問題を話し合います。模擬国連会議によく似ていますが、それよりも規模が大きいものです。夏休み中に12日間にわたって、ワシントンDCとニューヨークで行われました。

まず第一にこのプログラムのリーダーシップ要請を目的とした教育的シミュレーションに参加した事により、素晴らしい経験をしました。

また、アメリカン大学、世界銀行本部、合衆国国務省などを訪問しました。国連本部では質疑応答に参加する機会を得ました。実際に国連で働くスタッフの方々に、直接話を伺える機会に恵まれて、素晴らしい経験をしました。スタッフの方々から複雑な世界的問題を批判的に考慮するように助言を受けました。このようなリーダーとしての経験は将来必ず、生きてくると思います。

もうひとつの素晴らしい経験は世界中の国々から来たユニークで色々な事に興味がある学生の参加者たちと、時間を共有できたことです。この経験から多様な考え方やモノの見方を得ることができました。

ここまではまるで私たちが「勉強」ばかりしてきたようですが、実際は観光や余暇も存分に楽しみました。観光で

は、ニューヨークのエリス島、自由の女神、タイムズスクエア、チャイナタウン、ロックフェラービルなど、ワシントンDCでは、ジョージタウン、ワシントンモニュメント、リンカーン記念塔、第二次大戦、朝鮮戦争記念碑などを訪問しました。



最後に、この経験はまさに目からうろこが落ちるような思いをさせられ、我々のやる気をなお一層引き起こしてくれました。学校ばかりでなく、将来の職業にわたってやる気を喚起されました。プログラムの経験者として、まさに人生を変える経験になりました。楽しみながらも、大いに学び何物にも代えがたい経験になりました。もし質問などがあつたらいつでも私たちまたは、Mrs. Okude・Mr. Wagnerにいつでもお尋ねください。

Kei and Ryosuke
(G12)
(Assisted by Mr Wagner)



Library News

KIST図書室からこんにちは！

新学期が始まって以来はやくも多くの生徒がKIST図書室やコンピューター室を利用しています。昨年まで、二つの図書室を運営してきましたが、新学期が始まるにあたり、いくつかの変更があります。チャプターブックはジュニアライブラリーに移動しました。ジュニアライブラリーの利用者は、靴を脱いで入室することになりました。いつもきれいなカーベットに座って読書することができるようになります。

New Library Assistant

Jose Christianさんが新学期から新しいライブラリーアシスタントとして図書室チームに加わりました。



“こんにちは、KIST夏季プログラムのチューターとして働いた後、新たに図書室チームに加わりました。毎日多くの生徒達に関わられて、毎日楽しい時間を過ごしています。” —Jose Christian

Library use

Borrowing limits:

Grade	Maximum	Due
K1 and K2	2	2 weeks
K3 and G1	3	
G2 - G5	4*	
G6 - G12	6*	
Parents	4	

Opening hours:

Junior Library:
Class times until 3:00 p.m.
Main Library:
8:15 a.m. - 4:30 p.m.

Out of class time usage for Elementary students

(小学生の授業時間以外とジュニアライブラリーの利用について)
K3からG3までの生徒及び、ジュニアライブラリー利用者は利用時、常に先生か親御さんといっしょでなければなりません。G4からG5は、図書室を利用していることを先生に伝えなければなりません。(メインライブラリー利用時)

Main Library computer room

生徒は自分の勉強や、宿題をするために授業以外でもコンピューターを利用することができます。また、図書室がいている時間内ならば印刷をすることもできます。

白黒: 10円、カラー: 25円 (一枚当あたり)

Volunteers

下記の時間内で図書返却及び整理のボランティアを募集しています。また、その他のボランティアで手をお貸しいただける方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

Junior Library: 月曜日、火曜日、木曜日の午前9時から30分ほど。

Main Library: 水曜日と木曜日、学校開校時いつでも

Donations

図書の寄付は常時受け付けています。現在ご寄付いただいた図書15箱ほどがカタログ化のプロセスを待っています。この中のいくつかの本はスクールフェスティバルで販売することをご了承ください。図書をご寄付いただく前に、ぜひ当図書室のほうへお知らせください。s_yoshimoto@kist.ed.jp.

Satoko Yoshimoto
Librarian

Office Updates

Identity cards

G1から上の学年の生徒全員とご父兄の皆さんには学校のIDカードを発行しています。KISTに登校する際または訪問する際はいつもこのカードを持参し、正門の所でスキャンしてください。門がほかの方によって開いているときでも、必ず出入校の際にカードをスキャンしてください。このカードを紛失したり、傷がついたりした場合は事務室にお知らせください。カード再発行に2,000円かかります。カード内部のメモリーチップを保護するために必ずプラスチックのケースに入れてください。プラスチックケースは、受付で購入できます。

School communication

昨年度お知らせしたように、当校とご家庭との間の連絡（ニュースレターや申込用紙などの記入用紙）は全て電子メールを介して行われます。このシステムでは、PDF形式のファイルやドキュメントへの直リンクをお送りします。PDF形式のファイルを読むために最新のAdobe Readerをダウンロードしてください。電子メール配信不備のための連絡不徹底を防ぐために、毎週金曜日にその週に送ったメールの要約を送ります。もし、受け取っていないメールがありましたら、当校事務室までご連絡ください。当校にお届けのメールアドレスを変更なされたい場合は、当校のホームページよりChange of Registered Details Formをダウンロードなされ、記入後、提出してください。（一家族に一件のメールアドレスを登録可）

School calendar



2010-2011年度のスケジュールカレンダーが当校のホームページのカレンダーページで利用可能になりました。いくつかの変更事項がありますので、8月27日付の最新のカレンダーをご家庭で印刷して参照してください。変更事項:

February (2月)

17-18: (G10) MYP Personal Project Exhibition
22-24: IB PYP/MYP/DP evaluation visit

School photographs

10月4日月曜日と10月5日火曜日はスクール写真撮影日です。この両日のみが公式の写真撮影日です。なるべく欠席しないようにお願いします。撮影当日は全生徒は正式な当校夏用制服を着用のこと。体操服(体育着)は不可。当日体育の授業がある場合は忘れずに体操服を持ってきてクラスの前に着替えてください。もし当日に制服規定にそぐわない生徒はスクール写真には参加できません。

スクール写真に関するくわしい情報は後日各ご家庭にお知らせします。

Car Parking Reminder



車で送り迎えをなさる方は必ず公共の駐車場を利用してください。当校前の清洲橋通りや赤札堂近くの通りは駐車禁止です。当校周辺への違法駐車(朝と午後)に対する周辺住民からの苦情も寄せられています。地域警察から駐車違反(車内に誰かが残っている状況も含む)に関してKISTご父兄に対して再度確認するよう要請を受けました。ぜひ、路上駐車をせず公共の駐車場を利用する事で地域住民のみなさんとの良い関係を維持することにご協力ください。なお、近隣との非公式の取り決めにより当校エントランス前の道路は一方通行となっています。清洲橋通りからコンフォートホテル横の道に入り、赤札堂の横を通って清澄通りに出てください。

Searching for Singers

KISTでは時々スターフルーツエンターテイメントというレコーディング会社にプロのCDを制作するために施設を提供しています。今まで、75名以上の当校生徒がレコーディングに参加してきました。これらのCDは一般のCDショップやiTunesストアで売り出されています。このレコーディング会社では、10月に再度レコーディングを計画中です。お子さんがこの企画に参加したい場合や興味がある場合は、Mr. Adamsまでメールでお問い合わせください。

(t_adams@kist.ed.jp)

参加した場合の拘束時間は、約3時間です。

Trevor Adams
Secondary Music Teacher



Elementary School News

先日のウエルカムナイトで多くのご父兄にお会いできて、すばらしい時間を過ごしました。当校教師陣は準備に多くの時間を費やしてみなさんに今年「どのようにお子さん方の学習を手助けしていくか」みなさんにご理解いただくために教師陣は多くの時間を準備に費やしていました。ご父兄の皆さん方には担当教師の今年の指針がよりよく理解いただいたと思います。

当校では、生徒達が可能な限りベストな教育を受けることが、最優先事項です。生徒達の継続的な学習効果向上とカリキュラム向上のために、我々は「学ぶ時間・教える時間」と「それぞれの学習ポイント」に焦点を当て生徒達の勉強と社会学習が発展するようにしていきます。この過程をご家族でサポートしていくうえで重要な事は、お子様に今学校で何を勉強しているか問いかけてあげることです。またおすすめしたいのは、クラスのホームページをお子さんといっしょに見るのも、会話に刺激を与えることとなります。

小学校G1 からG5までの各教科エリア(リテラシー、算数、科学、テクノロジー)のコーディネーターが任命されました。それぞれのコーディネーターの簡単な自己紹介と今年のプランをご紹介します。

Greg Brunton
Elementary Principal

Literacy

ようこそ！私はK1-G5リテラシーコーディネーターおよびK3Aの担任のDiana Hudsonです。私はオーストラリアのメルボルン出身で、KISTで三年働いています。また、日本に住むのは6年目になります。エレメンタリースクールでリテラシーに関する情報を共有することをとても楽しみにしています。今年の主なイベントは、Read-a-thon (リーディングマラソン)、World Book Day (3月4日) and Children's Book Week (5月2日-8日)です。

Diana Hudson
Elementary Literacy Coordinator



Mathematics

皆さんこんにちは！私はKevin Yoshiharaです。



私はG5Bの担任で、今年がKISTで2年目になります。以前はカナダ、クウェイトと上海で教えていました。

今年算数では、前向きなプログラムの修正をしました。まずはじめに、エレメンタリースクールのオンラインプログラム、“Mathletics”の導入です。

去年私はG5の生徒たちとこのプログラムを試し、素晴らしい教材だということが証明されました。そして今年、G1-4の学年にも導入しました。生徒の算数のスキルと知識を測るためのさまざまな評価方法も作成しています。私は先生と生徒たちとともに算数のプログラムを改善することを楽しみにしています！

Kevin Yoshihara
Elementary Mathematics
Coordinator

$$\begin{array}{r} 10784.36 \\ 5 \times 9 \div 1 \\ 2.719372 \end{array}$$

Science

こんにちは、サイエンスが好きな皆さん！私はG2B担当のMs Leeです。今年私はG1-2を対象としたサイエンスクラブを3ターム行います。私は、様々な実験を行うことを楽しみにしています。このプログラムでは、色のスペクトル、飛行物体、水、虫など様々なものを調べます。また、実験結果の記録の仕方を学びます。では、月曜の3:30にG2Bの教室でお会いしましょう！



Susan Lee
Elementary Science Coordinator

Technology Integration



Cool science fact #1:

ねこはその空間を通り抜けられるかどうかチェックするのにひげを使う。

私は、Erwin Dumendenです。Grade 3Bクラスの担任です。そして、小学校のインフォメーション・コミュニケーションテクノロジー担当です。オーストラリアのメルボルンから来ました。学校では、市民工学を勉強していました。今まで、G5, G6, G2の担任と、後には教育省で数学、科学、テクノロジーの総合教育に関するコンサルタントをしていました。たくさんの学校や教育機関ともいっしょに仕事をして、各教科にテクノロジーを導入する手助けをしていました。(次ページに続く)



私の教育理念は個人的なパッションとミッションの中核を成すものです。—「継続的な進化と発展」
これが私の教育理念です。ということは、私は常に進化と発展はできないかと考えています。どんなに今がよく見えても、進化と発展の余地は残されているということです。PYPのテクノロジーコーディネーターとして、生徒、教員そしてご両親もより発展した教育を提供するために手助けしていきたいと思っています。



今月より、新しいコンピューターとデジタル出版クラブで生徒達は新たなデジタルデザインと出版テクニックを学ぶ機会に恵まれます。新しいテクノロジーに刺激された感動的な作品を今から楽しみにしています。

Internet Safety Education @ PYP

cyber(smart:)

インフォメーションとコミュニケーション技術が様々な分野に進出し、PYPの教室にも生徒達の生活

にも影響を与えるようになってきました。

ますます、安全で責任感のあるインターネット使用が学校で求められています。小学校高学年のクラスでは、インターネットの安全な使い方を小学生向けに作られた

www.cybersmart.gov.au のサイトで勉強しています。

(www.cybersmart.gov.au/cyberquoll)

また、両親のための資料も豊富にそろっています。

www.cybersmart.gov.au/en/Parents.aspx

質問、ご意見等ございましたら、下記のアドレスまでメールでお問い合わせください。

e_dumenden@kist.ed.jp.

Erwin Dumenden

Elementary Technology Integration Coordinator

Founders' Awards



2010-2011年度のSilver Founders Awardの受賞者を発表いたします。Matthew (G12) です。

“ 受賞のニュースを耳にして、大変うれしく思いました。ただ大切なことは、今年、自分のベストをつくすようにいつも以上にやる気がでてきたことです。 ” —Matthew

Matthew くん、受賞おめでとうございます。最高の年になるよう期待しています。

Moodle News

KISTの新しいオンラインラーニングシステムはすばらしいスタートを切りました。平均



で約半数の生徒とご父兄がウィークデイのほぼ毎日 Moodleにアクセスしています。先生方がこれからもMoodle ページを増やしていけば、アクセス数ももっと増加すると思われ

ます。全てのご父兄からログイン情報をお送りいただきました。また小学校のすべてのご父兄にも一度ログインしていただき、電子メール情報を新しいものにアップデートしてください。やり方は、8月27日のメールに明記してあります。ご参照ください。

中学校、高校のご父兄のかたがたも、ぜひ定期的にシステムにログインされて、宿題や、クラスでのイベントなどを確認なさってください。

* Moodleは先生と生徒・ご父兄を結ぶコミュニケーションツールです。学校からの公式なお知らせ等はひきつづき、電子メールを介して行います。

Moodleに関する質問等はmoodle@kist.ed.jp

または、当校事務所までお電話でお問い合わせください。

Christian Thompson

Education Technologies Integrator

ISA Testing

The International Schools Assessment (ISA) は、インターナショナルスクールに在籍するG3からG10までの読む力、書く力、数学力のそれぞれのスキルをはかるテストです。ISAは国際的に使われているOECDのProgramme for International Student Assessment (PISA)の読みと数学リテラシーの枠組みをもとにしています。

KISTでは以前、ISAテストは3月に実施していましたが、今年秋に実施することにしました。これは、学年度末前に生徒の習熟度を伝えるのに先生方にもっと時間を確保するためです。

今年のISAテストは9月28日から30日の間にG3, G5, G7, G9に対して実施されます。

ISAは[Australian Council for Educational Research](独立リサーチ機関)によって開発されました。このテストは世界中の240校あまりの学校で実施されています。

KIST Administration Team

Secondary School News



みなさんこんにちは、私は、ロビンシュナイダーと申します。新任のセカンダリープリンシパルです。教育にたずさわって16年になります。

ここ8年間は韓国のコリアインターナショナルスクールで中学部の校長をしていました。韓国に行く前は東京の西町インターナショナルスクールで数学を教えていました。KISTに来られて大変うれしく思っています。これから生徒諸君とご父兄の皆さんと多岐にわたって関わっていくことを楽しみにしています。

私は、生徒に対する教育は三角形であるという教育的アプローチを標榜しています。(元数学教師です！)

生徒、家庭、学校の三要素がこの三角形を形成しています。もしこの三つの要素が共通のゴールのために協力して作業をすれば、どんな困難なことも成し遂げられると信じています。ですからぜひ、生徒達の学校での生活に積極的に参加してください。そして、私とのコミュニケーションにもぜひ参加するようにサポートよろしく願います。

r_schneider@kist.ed.jp

Parent Welcome Night

信じられないぐらいですが、KISTセカンダリーはすでに新学期が始まってから一か月がすぎました。ペアレンツウエルカムナイトにたくさんのご父兄がおみえになりありがとうございました。また、当日おみえになれなかったご父兄のみなさんには、ぜひお子さんの担当教師に電子メールで連絡をおとりになることをお勧めいたします。勉強の進み具合や、学校のイベント等、おたずねください。

College Night

KISTでは、来る9月21日にご父兄のためにエキサイティングな企画をたてています。この企画は特に11年生、12年生のご父兄を対象にしていますが、全てのセカンダリーのご父兄もぜひご参加ください。Mr Wagner, Mr Cowe、Mrs Okude が大学進学に関するプロセスについてお話しします。

9月21日 午後6時から8時まで。みなさんぜひご参加ください。

Teacher's e-mail

KISTの教師陣に電子メールでコンタクトを取る場合、以下の情報を参考にしてください。電子メールアドレスは基本的に名前の最初のイニシャルそして、下線、苗字、その後、@kist.ed.jpに続きます。例: Mr. John Smithの場合 j_smith@kist.ed.jp となります。

Clubs

今学期、セカンダリースクールでは30以上のクラブがあります。クラブ時間は以下の通りです。月曜日、水曜日、金曜日 3:30から4:30まで。いくつかのスポーツ系クラブ(U-18チーム)は4:30から5:30まで練習を行います。1学期のクラブにサインアップできなかった生徒: 2学期のクラブは12月から始まります。

Moodle

KISTの教師陣は生徒たちとコミュニケーションを取るためにMoodleを使っています。また、Moodleはご父兄のみなさんにもお子さんのクラスで今、何を勉強しているのかを知るためのすばらしいツールです。Moodleに関する質問は Mr. Christian Thompsonへ c_thompson@kist.ed.jp

Grade level trips

KISTでは生徒達を実社会のための準備としてKISTカリキュラムに関連してアウトドア教育を取り入れています。その一環として、中学校の全学年で、キャンプや、デイトリップを計画しています。これらは全て当校のカリキュラムと直接つながっているので、全員参加で



す。また、色々なクラスのカリキュラムの内容ともリンクするように教師陣はクラスを計画しています。

Grade 8 Camp: Grade8は埼玉ユースセンターで英語、健康、科学、体育、に関連した体験をします。9月29日から10月1日実施予定。詳細は電子メールをお確かめください。またMoodleでも確認できます。

Grade 6 Camp: Grade6は今年も日光へ行きます。詳細は現在計画中です。決まり次第、電子メールでお知らせします。(Moodleでも確認できます)

ISA testing

Grade7とGrade9はKISTのカリキュラム調整及び向上のため、再びISAテストを実施します。テスト結果を有効利用するために、今年度は、テストを9月に実施します。実施日: 9月28日と29日(30日は欠席した生徒のための予備日)

Drama Festival

KISTは今年、東京のインターナショナルスクールのための中学校ドラマフェスティバルを開催します。100人以上の中学生が来校し、素晴らしいパフォーマンスを披露します。実施日: 11月3日
当校のParent/Teacher/Student Interviews と同日ですので、ぜひパフォーマンスにも足を運んでください。

Robin Schneider
Secondary Principal

Staff 10!

今月のStaff 10!では、アメリカ合衆国出身のセカンダリーアートのDaryl Bates先生をご紹介します。彼は2008年度からKISTで働いており、現在はアートとCASのコーディネーターです。

• 何か故郷の面白い話を教えてください。

カリフォルニアのリバーサイドには、スペインの宣教師がスペインから持ってきたネーブルオレンジの木があります。この二つの木は100年以上も前のものですが、いまだに実がなります。この木は100年以上の間、オレンジをつくり南カリフォルニアの農作業の助けとなっています。

• 世界で好きな場所はどこですか。

オランダのアムステルダムが静穏とアートの面から一番好きな場所です(Rembrandtの家があります)。

• チャンスがあるならば、誰に会いたいですか。また、それはなぜですか。

Rembrandt van Rijnに会って、見習いたいです。また、未来に行ってGuy DuBordが彼の作品"Society of the Spectacle"を単純化する間に彼の自画像をペイントしたいです。

• 何か特別なスキルや才能はありますか。

実物大を見ながらスケッチやペイントをしたり、実物と同じ大きさの肖像画を描きます。

• 何かみんなが知らない先生の一面を教えてください。

2002年にカリフォルニアのサンフランシスコで、水上レストランを開業するために94フィートの歴史的なタッグボートを買ひ、自己破産しました。この時に、大学院に行くことを決め、先生になる決断をしました。

• 宝物は何ですか。

自分の体です。

• 自分を表す言葉を教えてください。

自意識が強い、オリジナルフェイク、カジュアル、ヒッピー、アートオタク、スニーカーフリーカー、セカンドプレイス。

• 人生をもう一度やり直せるとしたら、何か違うことをしてみますか。

はい。カリフォルニアで生まれ、スペイン語を勉強し、Peter McLaren監修の元UCLAで批判理論を勉強したいです。

• 今、何か勉強していることや、上達しようとしていることはありますか。

日本語を勉強しています。また、健康とペイント能力を挙げようとしています。

• ファンに何かメッセージをどうぞ。

私にファンなんているんですか？ 謙虚さ、問題視、忍耐強く、情熱を持ち、自己に対する意識を探し、いろいろな場所に行きましょう。



Mr Bates participating in Habitat for Humanity in Indonesia, June 2010.

Counselor's Corner

どうすればティーンがセカンダリースクールの生活を乗り切ることができるか。

今年からG6-11のセカンダリースクールの生徒は、新しい管理システムを使っています。全ての生徒は、科目ごとに仕切られた一つのバインダーを使う必要があります。また、全ての生徒はアサイメントを科目ごとにダイアリーに記録します。宿題がない日は、ダイアリーに「なし」と書きます。

以下のリストを読むことで、お子さんが毎日学校の準備ができているか確認することができます。

1. ティーンのパインダーのチェック

綴じられていない書類はあってはいけません。全ての書類は科目ごとに、新しい順に並べます。

2. ティーンダイアリーのチェック

毎日科目ごとのアサイメント記録があります。アサイメントに先生のサインと丸が付けられているものは、生徒がそれをやってことになったことを意味します。

3. キッチンのように、家で人が集まるような場所で勉強させる。

ティーンは、ベッドルームなどコンピューターや携帯電話がある密閉された部屋で集中することが難しいです。ソーシャルネットワーキングサイトなどは勉強する上で誘惑的です。

4. 寝る前に次の日の準備をする。

以下の物を確認してください: ダイアリー、バインダー、USB、定規、鉛筆、教科書と本。

5. 夜にティーンが好きなダウタイムをあげてください。

健康かつ学校でいい成績を取めるためにも、バランスを保つことは不可欠です。

6. ティーンのために就寝時間を決める。寝不足が原因でうまくいかないことがあります。

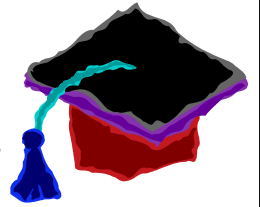
もしティーンが夜遅くまで勉強しているのであれば、それは時間を有効に使ってないことを示します。もしこのような問題があれば、アドバイザーにご連絡ください。

ティーンがルーティーンに入れば、定期的なバインダーとダイアリーチェックを行うことができます。ティーンによっては、これが毎日必要な人もいます。ADD/ADHDの生徒や、自己管理ができない生徒は親のサポートが必要になります。

サポートをよろしくお願いします。

Sharon Gibbons
Student Welfare Counselor
s_gibbons@kist.ed.jp

College Admissions Season



大学入試シーズンが始まりました。学校は始まったばかりですが、KISTの皆さんには世界中の大学からの代表者の皆さんと会う機会がたくさんあります。このような会議は全ての生徒にとってとても重要ですが、特に2ヶ月以内に大学への願書を作らなければいけない12年生は大切です。

ほとんどのアメリカの大学への願書の締め切りは、12月31日です。そして、願書の作成は冬休み前の、2010年12月17日までにほぼ終える必要があります。

UCAS(イギリス)の大学システムで

は、2011年1月15日が願書の締め切りです。

つまり、保護者の皆さんと願書を出す生徒は、次の何週か以内に大学について調査を行い、進学する大学の選択について話し合う必要があります。

これらの内容に関しては、進学カウンセラーのMrs Keiko Okude と Mr Michael J. Wagnerが、9月21日の夜、18時から20時までCollege Information Night を開催する予定です。12年生の生徒と保護者の皆さんはぜひご参加ください。また9年生から11年生の生徒と保護者の皆さんも参

加することをお勧めいたします。以下に、今までイベントを開いた大学のリストと、同じように近いうちにイベントが開かれる予定の大学のリストが載せてあります。何かご質問がある方は、いつでもMrs Okude (k_okude@kist.ed.jp) か Mr Wagner (m_wagner@kist.ed.jp) に連絡をください。

KISTで開催される各大学別学校案内プレゼン

- Colgate University, Skidmore College, Reed College, Northeastern, Colorado College, USA | Thursday, September 2 | 9:40 a.m. - 10:30 a.m.
- NYU (New York University) Abu Dhabi, UAE | Monday, September 13 | 3:30 p.m. - 4:30 p.m.
- Glion Institute of High Education, Switzerland | Friday, September 17 | 3:30 p.m. - 4:30 p.m.
- ICU (International Christian University) Japan | Monday, September 27 | 3:30 p.m. - 4:30 p.m.
- Swiss School of Tourism and Hospitality, Switzerland | Thursday, September 30 | 3:30 p.m. - 4:40 p.m.
- University of Melbourne, Australia | Thursday, September 30 | 3:30 p.m. - 4:30 p.m.
- UBC (the University of British Columbia), Canada | Monday, October 11 | 3:30 p.m. - 4:30 p.m.
- PLU (Pacific Lutheran University), USA | Friday, October 15 | 3:30 p.m. - 4:30 p.m.
- Binghamton University, USA | Monday, November 1 | 3:30 p.m. - 4:30 p.m.

カレッジフェア

- CIS College Fair at St. Mary's International School | Thursday, September 9 | 1:30 p.m. - 2:45 p.m.
- UK College Fair by British Council at Grand Hall Shinagawa | Saturday, October 2 | 1:00 p.m. - 7:00 p.m.
- UK, USA, Australian College Fair by beo at L Tower Shinjuku | Sunday, October 3 | 1:00 p.m. - 6:30 p.m.
- Kanto Plains College Fair at ASIJ | Monday, October 25 | 2:00 p.m. - 4:00 p.m.

その他、進学に関する重要なイベント

- College Information Night at KIST | Tuesday, September 21 | 6:00 p.m. - 8:00 p.m.
- PSAT for G10 and G11 | Saturday, October 16 | 9:00 a.m. - 12:30 p.m.

Free Dress Day



2010-2011年の最初のフリードレスの日は、**9月28日火曜日**に行います。参加費は200円です。この日に集められた資金は、セカンダリーのSRC (Secondary Student Representative Council) のために使われる予定です。今回の私服の日のテーマは、「虹」です。

虹は、美しく、また様々なものがいっぺんに現れる素晴らしいものです。これ以上にインターナショナルスクールに合うシンボルがあるでしょうか？私服の日には、虹の色に関係する色をテーマに洋服を着てきてください！この日は学校全体皆で集まり、記念写真を撮りましょう；差別では

なく多様性を支持する者として大きな学校の虹を作りましょう！

ご家族の皆さんには、この私服の日は**学校全体**のイベントであることを覚えて頂きたいと思います。個別にお知らせは致しませんので、どうぞご自宅のカレンダーに日をご記入いただきますようお願い致します。また、私服の日には生徒は制服を着てくる必要はありません。生徒が着る洋服は、学校のイメージに合ったもので構いません。さらに、その他の外見に関してはいつもの学校の規定に従うようにしてください。もしこの学校の規定について不明な点がありましたら、スクールハンドブック(available on the Admissions >> Documentation page of the school website) をご覧下さい。

Sino-Japan Youth Conference



僕は、ここK. International Schoolに通う9年生の井上大成です。僕は今年の夏休みに、香港と中国の広東省に向かいました。

それは日中青年会議という国際会議に参加する為でした。この会議は中国、日本と香港から来る45人の中高生達が一つの目的の為に集まり真剣に日中関係について議論するというものです。

誰でもこの会議に参加できる訳ではなく、二つの論文(日本語と英語)と面接を通して選ばれた15人の中高生が日本からこの会議に参加できるのです。僕はこの試験に合格して会議に参加したのですが、正直言うと試験は論文、面接があったこともあり、K. International SchoolでIBの教育を受けていたので、試験に通ることができたのではと思いました。最終的に試験に合格し、僕を含めた15人が香港に渡りました。

中国、日本と香港からこうして集まった青少年達は香港にあるLi Po Chun United World Collegeの寮に宿泊し、一週間を共に過ごし、今の日中を取り巻く様々な問題について議論していきました。チベット問題、靖国問題、中国での日系企業へのストライキ、貧富の差、教科書の違い、世界平和や反日問題などに焦点を当て実際に参加者はそのような内容に関して、様々な体験したり、見たり、議論しながら学んでいきました。僕も実際に会議中に中国の日系工場の従業員に話を聞いたり、教科書の違いを比較したり、貧富の差を目

の当たりにしたり、そして反日感情を持つ人とも話をしたりしました。

僕の印象に深く残っているのは元ハンセン病患者の隔離された村を訪ねた時です。中国政府はハンセン病患者を隔離する政策を取りハンセン病患者を隔離された村に送りました。今ではハンセン病患者もいなくなり後遺症を残した人達が住んでいます。彼らは家族や兄弟と生き別れてつらい過去を送っていましたが、JIAという日本人の立ち上げたNGO団体が彼らを元気にさせ村を活発にさせようという目的を持って村に何年前に住み込み始めました。それ以来JIAが担当した村は活発になってゆき村人にも笑顔が戻り僕達が訪れた時には世界中から来ているボランティアの人達が村人と一緒に暮らしていました。僕はこれを見て世界中の人は、国は違うけれどこんなにも協力して生きていけるんだなと思い感動しました。

日中青年会議の委員会のメンバーは実は大学生です。世界中の大学に通いながら、様々なボランティアに参加して世界について学ぼうとしている人達なので、話しやすく、きさくに話しかけることができ、相談にも乗ってくれて、冗談も言い合いやすい関係でした。僕はこの会議で大勢の素晴らしい人達に会い、様々な事を自分の目で見て世界の現状を知りました。この会議に参加して僕の物の考え方や見方が変わり、よりいっそう世界に出て様々な問題に取り組みたいという気持ちになりました。

会議が終わった後も参加者達は、それぞれの人生の次のステップに踏み

出そうとしています。ある中国からの参加者はJIAの活動に身を投じる事を決意し、またある香港からの参加者は中国と日本間での大規模な文通プログラムを立ち上げる事を決意し、またある広島からの参加者は世界平和の可能性を信じて国連本部に出向き、これからも国際的な会議に参加する事を僕に話してくれました。自分を含め、皆がこの会議で巡り合った色々な仲間達と一緒に世界を変えていこうと動き出したのです。僕はぜひもっとKISTの生徒達にもこのような学校外でのボランティア活動を含む世界を知る機会に参加してほしいと感じました。

Taisei (Grade 9B)



Important School Sport Dates

今年の秋学期も KIST ではスポーツ大会が開催されます。各クラブでは現在、次の ISTAA シーズンにむけて練習をしています。以下は、秋学期に開催されるバレーボールとクロスカントリーの試合の日程表です。また、以下のリストにない試合日程に関しては、次回以降のニュースレターでお知らせ致します。また、スポーツクラブに関する手紙は、ご自宅へ郵送いたしました。



バレーボール

Date	Age level	Opponent	Venue
Sep. 21 (Tuesday)	U/18 Boys/Girls	Canadian International School	KIST
Sep. 22 (Wednesday)	U/14 Boys/Girls	Tokyo International School	TIS
Sep. 27 (Monday)	U/18 Girls	International Secondary School	ISS
Sep. 28 (Tuesday)	U/14 Boys/Girls	Canadian International School	KIST
	U/18 Girls	American School in Japan	ASIJ
Oct. 5 (Tuesday)	U/18 Girls	Canadian International School	Canadian IS
Oct. 8, 9 (Saturday, Sunday)	U/18 Girls	<i>Tournament</i>	Yokohama IS / St Maur IS
Oct. 12 (Tuesday)	U/14 Boys/Girls	Canadian International School	Canadian IS
Oct. 14 (Thursday)	U/18 Girls	International Secondary School	KIST
Oct. 19 (Tuesday)	U/18 Girls	Columbia International School	KIST
Nov. 2 (Tuesday)	U/18 & U/14 Girls	Nishimachi International School	Nishimachi IS
Nov. 9 (Tuesday)	U/18 & U/14 Boys	Nishimachi International School	KIST
To be announced	U/14 Boys/Girls & U/18 Boys/Girls	<i>End of season tournament</i>	To be announced

クロスカントリー

November 5 (Friday): KIST 校内ハウス対抗クロスカントリー大会

November 19 (Friday): ISTAA インターナショナルスクール対抗

日程は変更する可能性がありますので、お気をつけください。

Will Spring

Sports/PE Coordinator



School Festival

KISTIVAL と新しく名前を変えて、今年もスクールフェスティバルが帰ってきました！このフェスティバルは、学校の資金集めのイベントとしてとても重要です！今年は、天候に関わらず（雨天決行）、10月23日土曜日に開催されます。今年、このフェスティバルで得た売上金は、学校のテクノロジーリソースの向上のために使われる予定です。この目的を達成するためにも、学校関係者皆様のご協力をお願い致します。確実にフェスティバルを成功させましょう！



教師や保護者の皆さん、そして生徒（もちろんセカンダリーの生徒も！）フェスティバルを盛り上げるために、その日は素敵な洋服や、面白い衣装を着てきてください！

このフェスティバルは一般の皆様にも開放されます。入場の際には、ごみ処理経費として100円を徴収させていただきます。詳細レターは間もなく皆さまに配信されます。

Welcome to New Staff

Faculty



Nanci Shaw, Ph.D.
n_shaw@kist.ed.jp
Head of School



Robin Schneider
r_schneider@kist.ed.jp
Secondary Principal



Phillip Carlo
p_carlo@kist.ed.jp
Language Support



Shane Harris
s_harris@kist.ed.jp
Mathematics



Kaai Izumi
k_izumi@kist.ed.jp
G1B



Christina Kayiafa-Smith
c_kayiafasmith@kist.ed.jp
G4B



Maksat Kondo
m_kondo@kist.ed.jp
Japanese Language



Stephen Marson
s_marson@kist.ed.jp
English/Humanities



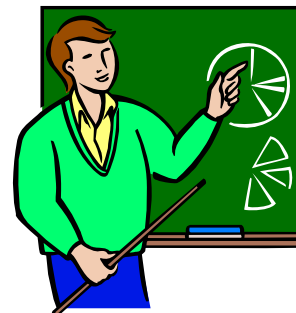
Stephen Rothkopf
s_rothkopf@kist.ed.jp
Humanities/Psychology



Florin Secosan
f_secosan@kist.ed.jp
Physics/Mathematics



Atsuko Yamashita
a_yamashita@kist.ed.jp
Japanese Language



Other staff



José Christian
j_christian@kist.ed.jp
Library Assistant



Amanda Forrest
a_forrest@kist.ed.jp
K2A Teacher's Assistant



Masumi Hori
m_hori@kist.ed.jp
Japanese Language



Ann-Marie Leone
a_leone@kist.ed.jp
K2B Teacher's Assistant



Yukari Nakajima
y_nakajima@kist.ed.jp
K1B Teacher's Assistant



Rachel Rosello
r_rosello@kist.ed.jp
K3 Teacher's Assistant



Gulnoza Sabirova
g_sabirova@kist.ed.jp
K1A Teacher's Assistant



Priyanga Shimada
p_shimada@kist.ed.jp
K3 Teacher's Assistant

素晴らしい一年を!